

授業科目	英語教科教育法Ⅳ					実務家教員担当科目	-				
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	太田 かおり										
授業概要	英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ知識および理論の実践的展開を試みる。中学校の教科書を使用して模擬授業を行い、授業展開の方法や指導案の書き方、配布資料の作成法や4技能5領域を効果的に活用した指導力等について実践的に学ぶ。模擬授業を通じて、中学・高等学校における「1時間の授業」の重みを十分に理解し、実際の教育実習や英語指導において効果的な指導ができるよう指導技術力を磨く。										
授業形態	対面授業				授業方法	模擬授業、ディスカッション					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 授業展開に則した学習指導案を作成することができる。 2. 学習指導案に即した授業を行うことができる。 3. 効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用して授業を行うことができる。 5. 英語教師への志と資質を高めることができる。										
理想的レベル	以下の項目を高度なレベルで行うことができる。  1. 授業展開に則した学習指導案を作成することができる。 2. 学習指導案に即した授業を行うことができる。 3. 効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用して授業を行うことができる。 5. 英語教師への志と資質を高めることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験			0								
小テスト			0								
レポート			30%			模擬授業実施後の自己評価フォーム（10%）、実践試験問題レポート課題（20%）					
発表（口頭、プレゼンテーション）			30%			学習指導案の作成と模擬授業					
レポート外の提出物			20%			模擬授業の評価フォームおよび毎回の授業後の振り返りフォーム					
その他			20%			討論への積極的な参加態度および質疑応答					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN34112J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
1. 次の模擬授業範囲を予習する 2. 英語力強化に努める 3. 英語教育に関する新聞記事や時事問題に関心を持つ										4	

4. 英語教師としての資質を磨き高めるため、自己研鑽に努め、ボランティア活動や英語指導に積極的に参加する	
授業計画	
第 1 回	授業ガイダンス ・ 授業概要を説明し、達成目標、評価内容や評価方法について説明する。 ・ CLIL を取り入れた授業の特徴について解説する。
第 2 回	授業展開および学習指導案の作成方法(1) ・ 学習指導案の作成方法について説明する。 ・ CLIL を取り入れた英語授業を考える：Unit 4 “To Our Future Generations” を使って CLIL 型授業について考察する。
第 3 回	授業展開および学習指導案の作成方法(2) ・ CLIL を取り入れた英語授業を発表する：Unit 4 “To Our Future Generations” を使って CLIL 型授業について発表する。
第 4 回	模擬授業① Unit 2 “From the Other Side of the Earth その 1” (Introduction、2-1) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 5 回	模擬授業② Unit 2 “From the Other Side of the Earth その 2” (2-2) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 6 回	模擬授業③ Unit 2 “From the Other Side of the Earth その 3” (2-3) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 7 回	模擬授業④ Unit 2 “From the Other Side of the Earth その 4” (2-4) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 8 回	模擬授業⑤ Unit 2 “From the Other Side of the Earth その 5” (Unit2 のまとめ、2-5) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 9 回	模擬授業⑥ Unit 5 “Living with Robots - For or Against その 1” (Introduction、5-1) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 10 回	模擬授業⑦ Unit 5 “Living with Robots - For or Against その 2” (5-2) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 11 回	模擬授業⑧ Unit 5 “Living with Robots - For or Against その 3” (5-3) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 12 回	模擬授業⑨ Unit 5 “Living with Robots - For or Against その 4” (5-4) (授業評価と講評、本講義のまとめ)
第 13 回	実践試験問題レポート講評・討論／評価・試験問題作成上の留意点(その 1)
第 14 回	実践試験問題レポート講評・討論／評価・試験問題作成上の留意点(その 2)
第 15 回	授業展開・指導方法・学習指導案・模擬授業・試験問題作成に関する振り返り 総括
テキスト	・ 文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』(2017) ・ 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編』(2018) ・ 配布資料
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・ 金森憲他『英語授業ハンドブック・中学校編』大修館書店 (2013) ・ 金森憲他『英語授業ハンドブック・高校編』大修館書店 (2013) ・ 望月昭彦・磐崎弘貞・卯城祐司・久保田章 (著)『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第 3

	<p>版』</p> <p>大修館書店（2018）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省『中学校学習指導要領』（2016）</li> <li>・文部科学省『高等学校学習指導要領』（2015）</li> </ul> <p>その他、適宜授業中に紹介する。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導案については、模擬授業実施前に添削してコメントをフィードバックする。</li> <li>・模擬授業実施後の自己評価と振り返りフォームについては、授業終了時に取りまとめてフィードバックする。</li> <li>・実践試験問題レポートおよび模擬授業については授業内にてコメントする。</li> </ul>
学生へのメッセージ・コメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回、次時の模擬授業の範囲を全員予習してくること</li> <li>2. 英語力強化を目指し、継続的に英単語力・英文法力・構文力を身につけるように努めること</li> <li>3. 英語教育に関する新聞記事や時事問題には日頃から敏感になり、情報収集に努めること</li> <li>4. 英語教師としての資質を磨き高めるため、日頃から自己研鑽に努め、ボランティア活動や英語指導には積極的に参加すること</li> </ol>

